

様式2(指定管理者施設)

指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート(平成23年度事業分)

1. 施設の概要

施設名	山梨県立青い鳥成人寮	所管課	障害福祉課
所在地	甲府市下飯田二丁目10番1号	設置年月日 (改築年月日等)	昭和51年6月1日
管理方式	指定管理者((福)山梨ライトハウス、平成18年4月1日～平成28年3月31日)		
設置根拠 (法律、条例等)	山梨県立青い鳥福祉センター設置及び管理条例		
設置目的	18歳以上の知的障害者(盲)に必要な指導及び訓練を行い、自立した日常生活や社会参加を図ること。		
主な施設内容 (定員等)	居住棟:鉄筋コンクリート造・1部2階建・延床面積 1,457.07㎡ 陶芸作業棟:鉄骨造2階建・延床面積 143.30㎡ 紙工作業棟:鉄骨造2階建・延床面積 311.36㎡ 別館:鉄骨造2階建・延床面積 213.30㎡ 旧知的障害者入所更正(60名)、短期入所(4名)		
主な業務内容	(1)施設及び設備器具の維持保全に関する業務 (2)利用者に対するサービス業務 ・旧知的障害者入所更正 ・短期入所 (3)その他知事が必要と認める業務		

2. 類似施設・近隣施設

名称・施設内容・ 利用状況等	○山梨県立育精福祉センター (障害者支援施設:生活介護(105)、施設入所支援(90)) (知的障害児施設(70))
-------------------	--

3. 利用状況

単位:人、%

		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度 (目標値)
利用者数	利用者数(入所)	60	60	60	60
	短期入所(月平均利用人数)	19	18	12	4
	利用者数合計	79	78	72	
	目標値	64	64	64	64
	目標値設定の考え方	良質なサービスの提供を図る指標として、施設が利用者一人ひとりに作成している個別支援計画の達成度合いがあるが、障害者の障害程度が異なり、個別支援計画の目標達成度合いを一律に1年間で評価することは難しいことから、年度ごとの具体的な目標管理は出来ない。			
	対21年度比	100.0%	98.7%	91.1%	81.0%
稼働率	123.4%	121.9%	112.5%		

4. 収支状況

単位:円、%

		平成22年度	平成23年度 (計画値)	平成23年度 (実績値)	平成24年度 (計画値)
収入	施設利用料	222,283,455	236,200,000	239,756,343	238,305,000
	指定管理者委託料	0	0	0	0
	その他	1,934,489	51,940,000	13,687,763	46,055,000
	収入合計(A)	224,217,944	288,140,000	253,444,106	284,360,000
支出	人件費	126,328,637	148,755,000	131,465,792	164,953,200
	県への納付金	0	0	0	0
	管理運営費	76,436,918	139,385,000	62,429,574	119,406,800
	(うち外部委託費)(B)	11,777,089	20,000,000	17,283,665	18,000,000
	支出合計(C)	202,765,555	288,140,000	193,895,366	284,360,000
収支差額(A-C)		21,452,389	0	59,548,740	0
外部委託比率(B÷C)		5.8%	6.9%	8.9%	6.3%
利用者一人当りの経費		0	0	0	0

※直営の年度は、県の収支を記入し、指定管理者施設の年度は、指定管理者の収支を記入する。

※利用者1人当りの経費の算定式は、指定管理者委託料÷利用者数。

5. 利用者満足度

実施方法等	実施時期:平成24年3月 実施方法:利用者へ聞き取りによるアンケート、 回答数:32人
-------	---

単位:%

調査項目	満足・十分	普通・ どちらでもない	不満足・ 不十分	不明・ わからない
施設・設備管理	64.7%	14.7%	8.8%	11.8%
行事等	56.3%	28.1%	6.3%	9.4%
食事面	65.6%	21.9%	12.5%	0.0%
入浴支援	75.0%	15.6%	6.3%	3.1%
健康管理面	56.3%	21.9%	9.4%	12.5%
利用者のケア	43.8%	37.5%	6.3%	12.5%
金銭管理	65.6%	21.9%	0.0%	12.5%
各項目の平均	61.0%	23.1%	7.1%	8.8%

※調査項目は、施設ごとに適宜変更する。

利用者の意見	<ul style="list-style-type: none"> ・個室なので、1人になれる時間がとれて良い。個室になって嬉しい。 ・全部おいしい。おかずを細かく食べやすくしてほしい。 ・浴室が広く入りやすい。 ・担当職員は一年間続けてほしい。
利用者の意見への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・月に1回給食会議を設け、利用者に参加してもらい、意見要望を聞くことで、喜ばれる食事の提供に努めている。 ・新施設には、介護浴用の機器を整備し、重度者の入浴がスムーズに行えるよう改善を図った。 ・支援計画に基づき、個々のニーズに沿った支援に努めている。 ・利用者の要望に応えるため、担当職員は1年単位にすることとした。

6. 評価結果

	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	法令、業務仕様書等に基づき、適正に業務を執行した。	業務仕様書、業務計画書どおり適正に実施されている。
運営業務	事業計画書に基づき、適正に業務を執行した。	事業報告書及び現地確認の結果、適正に実施されている。 今後も引き続き利用者個々の特性に鑑みた個別支援計画を策定し、質の高いサービスの提供のために努力されたい。
自主事業	該当なし	該当なし
利用状況	各サービス事業の年間利用実績は以下のとおりであり、概ね計画どおり執行出来た。 ・入所 100% ・短期入所 222人 (年間利用延べ人数)	関係機関との連携を密に行い、施設利用の促進のためのPRに勤めている。今後も引き続き利用者のニーズに沿ったサービスの提供のために努力されたい。
収支状況	支出を節減し効率的な運営を行うよう努力した。	コスト削減により、効率的な運営・管理が行われた。 引き続き同様の経営が実現できるよう努力されたい。
利用者満足度	施設の改修により、老朽化した施設・設備に対する不満足感は軽減した。今後も利用者の意見を聞く中で、利用者にどのような支援が適切か職員一同で検討していくこととする。	今後においても利用者のサービス向上のために努力されたい。
運営目標の達成状況	個別支援計画に沿ったサービスを提供するとともに、定期的な評価・アセスメントを実施することで、利用者ニーズに合った質の高いサービスを適時に提供できた。個々の利用者の状況を把握し、必要に応じた支援を行なうことにより、利用者の生活の質を向上させることができた。	
施設所管課による総合的な評価及び指導事項	①施設管理・運営業務等について、条例、協定等に基づき適正に履行した。 ②経費削減に努めている。 ③利用者の希望する生活や課題等の把握に努め、サービスの向上に向け努力しているが、引き続き入所者の処遇向上のため努力すること。	
施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況	①条例、協定等に基づき適正な執行を行う。 ②今後も経費削減に努めていく。 ③今後も利用者個々のニーズに対応できるようさらに努力していく。	

